



サイコム・ブレインズ(上海)

リーダー/マネージャー研修 ワークショップ需要増加

マネジメントの現地化、企業理念の浸透、中国人幹部社員によるガラスの天井——これらは多くの日系企業の間で課題として認識されている。研修アウトソーシングなどを手掛けるサイコム・ブレインズ(上海)は、これら課題の解決のために、通常の集合研修にプラスし、社員が主役となり思考、議論させるワークショップ形式により、リーダーとしての素養を備えた中国人人材の育成サービスを強化している。

実戦的な研修へのニーズ

サイコム・ブレインズは、09年に上海法人を設立。現在、日本、中国、シンガポール、タイに拠点展開している。知識のインプットだけではなく、ケーススタディ、ロールプレイ、シミュレーションなど、受講者自身の思考と行動を促す研修スタイルを持ち味としている。

中国での研修ニーズに関して、中国歴23年のサイコム・ブレインズ(上海)の林久美子総経理は、「この20年間で日系企業のビジネスモデルも変化した。人材に求められるコンピテンシーも『報連相型』から『自律型』『変革型』へとレベルアップしている。マネジメント層以上に向けた、より実戦的な研修ニーズが高まっている」と語る。経済成長が緩やかになるにつれ、細部に至る合理化や効率

化が求められているが、現場リーダーに危機感が育っていないと感じている企業は少なくない。また、マネジ



林総経理

メントの現地化は進んではいるが、中国人社員は専門畑から昇進するケースが多いため、経営に必要な高い視座・広い視野を養う研修へのニーズも増えているという。

上級管理職 「7つの行動」

こうしたニーズに対して同社が提供しているのが、上

級管理職(部長層)研修「Hexagon Plus(ヘキサゴン・プラス)」。自らの志と組織ゴールを重ね合わせる「ビジョン・メイキング」、ビジョン達成に向けたシナリオを持つ「ストラテジック・プランニング」など上級管理職に求められる7つの行動を体系化し、受講者自身に内省と気づきの機会を提供することで、成長のサポートを図る。最近では部長級や副総経理などのほか、アジア地区の優秀マネージャーを集めての集合研修の依頼も増えつつあるという。

また、企業理念を浸透させたいといったニーズには、日中社員合同による組織風土向上研修などで対応している。日本人と中国人それぞれに日中異文化研修をおこない、「異



日中社員合同研修の様子。このときは2人1組でヒーローインタビューを実施した。日本人のベテラン層が自分の経験を伝える機会にもなり、好評だったという。

文化を理解するためのマインドセット」を身につけた上で、その企業の社員として価値を発揮するための行動を考えていくワークショップ形式の研修だ。

現在の年間研修実施量は、延べ日数ベースで300日ほど。そのうち6割をマネジメント層以上に向けた研修が占めている。ワークショップ形式の研修ニーズは4年ほど前から現れていたが、今では全体の4割を占めて増加しつづけている。

思康博企業管理諮詢(上海)

■上海市浦東新区陸家嘴環路1000号
恒生銀行大廈7楼
☎021-6841-3001
🌐www.cicombrains.com/shanghai
✉cbs@cicombrains.com